



いよいよ私立入試！！がんばれ3年生

いよいよ私立入試が始まります。雪が降りそうな予報が出ています。万全の準備をして全力で臨んでください。「平常心」を大切に！！

1. 入試前日の過ごし方

- (1) 持ち物の確認 前日の晩には、確認を終えておきましょう。
※試験会場で上履きが必要な人は忘れずに持ち帰りましょう。
- (2) 時間の確認 受験票をもう一度確認しましょう。
試験の開始時間は何時何分ですか。そのためには、何時に自宅を出る必要がありますか？逆算して就寝時刻を決めましょう。試験会場への到着時刻は、試験開始時間の30分前が目安です。ゆとりをもって出発しましょう。近距離でも自転車は使用してはいけません。
- (3) ルートの確認 2、3通りぐらいの行き方は考えましたか。電車の事故など、天気に関係ないトラブルもあるので注意してください。もちろん雪対応もしっかりと、考えておきましょう。
- (4) 前日の学習 面接は練習を思い出して受け答えの確認をしましょう。
学習はほどほどにしましょう。
- (5) 十分な睡眠 早めに就寝しましょう。リラックスした気持ちで休みましょう。そして、試験開始3時間前までには起床しましょう。

2. 入試日の朝の過ごし方

- (1) 朝食をとること 試験の朝は、緊張感から食欲がないこともあります。軽めのものでよいので必ずとりましょう。
- (2) 服装の確認 基本は儀式に参加する身だしなみです。会場は、席によって温度差があるものです。インナーに着ていくものやベストなどで温度調節をしてください。カイロなどの活用もよいでしょう。防寒着や不織布マスクも忘れずに！
- (3) 忘れ物 忘れ物のないように、最終確認をしましょう。

3. 自宅から会場まで

- (1) 置き忘れに注意 大切な受験票の入ったバッグを電車の網棚や床に置き忘れる、なんてことがないようにしましょう。
- (2) 交通機関の事故 「ない」とは言えません。あわてずに、駅員さんや運転手さんに、「どうすれば、何時何分に、目的地に着けるのか」尋ねましょう。迂回しても間に合わないようなら、すぐに高校へ連絡してください。※10日(木)は、中学校への電話も可能です。

4. 会場へ着いたら

- ①まっすぐに、指定の教室に入ります。
- ②指定された自分の席に着き、必要な道具（鉛筆、消しゴムなど）と受験票を出します。
※定規やコンパスなど高校側から指示されている文房具など確認しましょう。
- ③トイレを済ませましょう（場所の確認）。
- ④心静かに待ちましょう。ゆっくりと深呼吸をすると落ち着きますよ。

5. 試験が始まったら

- ①監督の先生の指示をしっかりと聞きましょう。
- ②受験番号、氏名を一番先に書きましょう。
- ③何度でも見直す。空白は、極力なくしましょう。
- ④気分が悪くなったら、無理をしないで、遠慮なく申し出ること。
- ⑤最後までベストを尽くしましょう。
- ⑥休憩時間の過ごし方もポイントです。終わったことを考えても仕方ありません。気持ちを切り換えて次の試験に臨みましょう。
- ⑦座席の前後となった友達と騒ぐことはいけません。緊張する場面や試される場面であればこそ、その人の本当の姿が出てしまうものです。
- ⑧トイレを済ませ、静かに、次の準備をしましょう。
- ⑨面接がある人は、自分の考えをまとめた紙などを見て、確認をしておきましょう。とくに、志望理由をハッキリと！

6. 試験が終わったら

元気なようでも、精神的にはかなり疲れています。寄り道しないでまっすぐ帰宅しましょう。

7. その他

可否の発表日や方法は高校によって異なります。三連休になりますので、14日(月)に担任の先生にきちんと報告してください。

持ち物チェック

- 上履き(不要な学校もあります)
- 受験票
- 筆記用具
- 交通費(万一のことを考え、ゆとりのある金額を持参)
- 電話代(10円玉を多めに持っていく。)
- 生徒手帳 ※受験番号や高校の電話番号を控えておく。
- 健康チェックカード(一応持って行く)※高校指定のカードの学校もあるので、確認する。
- 不織布マスクの予備(多めに持って行く)
- 水筒 高校の冷水機などは使用できないと思われます。
- その他(ハンカチ・ティッシュ・時計(音の鳴らないもの)・眼鏡・雨具・除菌シート・受験校のパンフレットなど) ※弁当が必要かどうかは各自で確認する。
※防寒着は必ず着ていくか持って行く。どんな状況にも対応できるようにしておくこと。
試験であることを考えて選びましょう。

